



## 「第1回六甲セブンズ」開催！

**午前中は高校生・女子チームに7人制クリニック**  
**午後からはセブンズ大会！**

日本協会「セブンズプロツクパートナー」クラブでもある六甲クラブが、6月30日に神戸市東灘区のカネディアンアカデミイGで初めての主催する7人制大会「第1回六甲セブンズ」を行い、約250人が参加した。

午前中は高校生・女子チームを対象とした7人制クリニックを行った。高校生のゲームでは早速クリニックで学んだプレーを披露した選手もいて歓声が沸いた。

X・親和女子レディース、兵庫レディース、芦屋クラブ、大阪チタニウム、神戸市立高専、兵庫レディース、親和女子大、クリニックの後は神戸村野工業vs S C I

（勝田氏）。

NPO法人六甲クラブの地域貢献活動「第6回ドリームラグビー」が、4月28日（土）、兵庫県西宮市の鳴尾浜公園で行

われました。多機能型障害者施設「ドリーム甲子園」の皆さんと、ラグビーを通じて交流を深める「ドリームラグビー」。

午後からは芦屋クラブ、大阪チタニウム、常翔クラブ、六甲クラブ、六甲クラブ、兵庫レディース、親和女子大、芦屋クラブ、大阪チタニウム、常翔クラブ、六甲クラブ、兵庫レディース、S C I X レディース、

## 「地域に根差したクラブ」目指して 今年も「情熱と勇気」もらいました！

### 「今年も「六甲ラグビークリニック」開催！」

NPO法人六甲クラブの地域貢献活動の一つ「六甲ラグビークリニック」が4月29日、神戸市東灘区の六甲アーバンド「カネディアンアカデミイG」で行われました。

対象としたクリニックで、六甲からも東田哲也GMはじめ25人が参加しました。クリニックは各年代ごとに分かれて実技指導。小学校高学年になると、ラックやモールなど専門的な分野まで熱のこもる指導が続きました。

子どもたちは当初おとなしめでした

が、時間が経つごとにアグレッシブさが増して、最後の試合形式の練習では六甲

パスランが続出しました。この中から間違いない日本ラグビーを背負う選手が多く輩出されることを確信。スクールの

コーチ陣の皆さんのが日々の教えたの

にありがとうございました。

六甲クラブは今後ともこうした地域貢

献活動を継続していきます。



### プレーヤー・サポーターも募集しています！

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費 2,000円	年間会費 1口10,000円（原則2口以上）	年間50,000円～（要相談）（原則2年契約）
予定している特典	予定している特典	予定している特典
・会報の送付	・試合、行事などの案内	・ジャージー・パンツなどにロゴ
・試合、行事などの案内	・後援企業（団体）交流会	・団体、法人会員と同等の特典
・ファンの集いの案内、優待など	・企業（団体）広告の掲載	※詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせは  
特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局（担当：山崎秀子）  
E-mail: rokkoclub@hct.zaq.ne.jp FAX: 079-243-1156

HPからお申込みください。 <http://www.rokkorugby.com>



**ROKKO NEWS**  
<http://www.rokkorugby.com>

特定非営利活動法人  
六甲クラブ

シーズン開幕直前号

**兵庫県選手権5連覇達成 新戦力続々加入！春シーズン快調！**

**決勝 第5回 兵庫県クラブ選手権**

**（6月17日・神鋼灘浜G）**

鎌田主将2シーズン目に突入した六甲ファイティングブルは、6月17日の兵庫県クラブ選手権決勝で芦屋クラブを交わし5連覇を達成した。頼もし新戦力が続々入り、充実した春シーズンとなつた。9月16日の公式戦（芦屋クラブ）までにさらなる上積みを重ねて、万全の態勢でシーズンを迎えるつもりだ。

「我慢の時間帯」があるのに、その流れを

ス、反則で意気消沈。1トライ取られたくらいで沈み込む雰囲気。どんな試合でも

国さえも行けない」交代指

変えようとする意気込みがなき過ぎた。B Kもお粗末な場面が目立つ。「いつ手権だが、六甲にはほろ苦いものとなってしまった。

球際の反応、ひたむきさ、泥臭さすべてに芦屋クラブに上回られ、最後は辛くも逃げ切った形になつた。

「今日は本当に恥ずかしい試合でした。このままじゃクラブ連覇どころか全国さえも行けない」交代指

示を務めた山下誠副将が言い放つた。苦しいメンバー構成は言い訳にならない。むしろチャンスだった若手FWもいなかった。前半20分までに3トライを取つて、そこからFWが染を始めた。

「我慢の時間帯」があるのに、その流れを

変化の現状を受け止めなければならない。今春のキックオフミーティングでは、鎌田主将は「CHANGE！」をテーマに掲げた。

大学でレギュラーやった。社会人でやっていた。そんなん関係ない。環境のせ

が変わらなければいけない。だ

その晩、仕事（太陽光発電研修）で欠席してた鎌田主将からメールが流れた。

「大学でレギュラーやった。社会人でやっていた。そんなん関係ない。環境のせ

が変わらなければいけない。やれるのも

自分でやらないのも自分。課題は山積み。答えはグラウンドで出そう」

言い訳なんいつでもできる。やれるのも

王者に食らいつきることはできない。だ

鎌田主将が「春シーズンのターゲット」と位置付けた、5月19日の同大B、27日のタマリバ交流戦、6月3日の名古屋クラブ交流戦で、六甲ファイティングブルはいずれも勝利を挙げ、全国大会連覇、日本選手権も順調な仕上がりをアピールした。

まずは同大B戦（同大田辺G）。運動量

豊富な学生に対し前半ブレイクダウンで

優位に立ちトライを重ねる。後半はケガ人が続出したものの必死のデフェンスで

選手権も順調な仕上がりをアピールした。

まずは同大B戦（同大田辺G）。運動量

豊富な学生に対し前半ブレイクダウンで

優位に立ちトライを重ねる。後半はケガ人が続出したものの必死のデフェンスで